

## DNAシーケンス2 『救出計画』 - 1476年

シーケンス2は開始直後から高警戒モード(悪い噂100%状態)がしばらく続く。兵士に見つかるとすぐに警戒されるので、周囲の状況には常に気を配った方が良い。広範囲の探索は一般市民状態に戻ってから行う方が良いだろう。

『隠された真実』(シンボル探し)がアンロックされる

### Memory-1 「郷に入らば」

- ・ サン・マルコ地区にある、娼館ラ・ローザ・コルタに入るとメモリー開始。女主人パオラの手ほどきで群衆に紛れる技とスリの技を学ぶ。
- ・ 兵士に警戒されずにパオラと共に周辺を一周した後、5人にスリを行えばシンクロ完了。

群衆に紛れる技術、スリの技を習得。

### Memory-2 「必殺の一手」

- ・ パオラに話しかけるとメモリー開始。
- ・ 壊れたアサシンブレードを修復してもらうため、レオナルドの工房へ行く。

この時点から娼婦・盗賊・傭兵を雇うことができるようになる。

- ・ アサシンブレード修復後、レオナルドを尋問する兵士を暗殺する。  
発見されると即シンクロ解除なので、暗殺で一瞬で仕留めなければならない
- ・ 暗殺後、兵士の死体をレオナルドの工房内へ担いで運ぶ。  
マーカ―地点に死体を降ろせばメモリー完了。

### Memory-3 「判事と陪審と処刑人」

- ・ ラ・ローザ・コルタに戻るとメモリー開始。
- ・ パオラの情報を元に、ウベルトを暗殺するべくサンタ・クローチェ修道院へ向かう。
- ・ 修道院を見渡せる屋上のマーカ―地点に登るとイベント発生。
- ・ 兵士に気付かれないようにサンタ・クローチェの中庭に侵入し、ウベルトを暗殺する。  
侵入方法は色々あるが、近くの娼婦を雇って出入口を守る兵士の気を逸らすのが最も簡単。
- ・ ウベルト暗殺後、逃げるなり倒すなりして一般市民状態に戻ればシンクロ完了。

ウベルト・アルベルティの手紙、陰謀の証拠となる書類を入手。

### Memory-4 「身をひそめる」

- ・ ラ・ローザ・コルタに戻るとメモリー開始。  
悪い噂メーターと噂を減らす方法について学ぶ。
- ・ 手配書をはがす、先触れに賄賂、役人を始末する等で、悪い噂を0%にすればシンクロ完了。

## Memory-5 「さらばフィレンツェ」

- ラ・ローザ・コルタに戻るとメモリー開始。  
クラウディアとマリアを連れてフィレンツェを離れ、モンテリジョーニへ向かうことに。
- 目的地マーカーを経由しながら、フィレンツェの東門へ向かう  
途中至る所に兵士がいるが、高警戒モードになっていなければ邪魔されることはない。
- 吟遊詩人が進路の邪魔をするが、荒っぽい対処をすると周囲の兵士に警戒されるので  
金を投げて吟遊詩人を追い払うと良い。ダッシュで軽く体当たりするのも有効。
- 東門は軽装兵×8が厳重にガードしているので、そのままでは通過できない。  
近くの娼婦を雇い、兵士の気を逸らすのが手っ取り早い。  
実力で排除しても構わないが、その場合はマリアとクラウディアを戦闘に巻き込まないように  
あらかじめ二人を離れた場所で待機させておくこと。
- モンテリジョーニへ向かう道まで二人を連れてくればシンクロ完了、シークエンス終了。